



〒960-1241 福島県福島市松川町字東原 17-3 Web <https://www.nposhalom.net> 発行責任者：大竹静子
TEL／FAX 024-567-5322

2025年NPO法人シャローム定期総会報告

令和六年度の事業報告の中から一年間の活動を振り返ると、ほとんどの活動が「ひまわりプロジェクト」を中心に展開されていることがわかります。「ひまわりプロジェクト」は、全国の栽培協力者を繋ぐ、「ひまわりプロジェクト」とシャロームの地元・福島での「ひまわりプロジェクト」の両輪で展開しています。

震災と原発事故を機に始まった「ひまわりプロジェクト」は、全国の栽培協力者の皆様に支えられ展開してきました。福島の現状を伝え、震災と原発事故からの教訓を伝える中で地域間交流を図つてきました。現在では「共生社会」

NPO法人シャロームの定期総会が、まちなか夢工房二階会議室において五月三十一日に開催されました。議案は、①令和六年度の事業報告と決算報告、②令和七年度事業計画と予算案。今年は役員改選の年となることから、③役員改選の三項目が審議されました。議案はすべて承認され、再任された大竹代表のもとに、新役員も加わり新年度が始まりました。

られ、昔の果樹地帯は、老齢化の中で耕作放棄地を増やし、変貌を遂げてきています。この流れを変えていくことがで、きなければ農村地帯は消滅してしまいます。

福島の私たちは、原発事故による恐怖から住み慣れた土地を捨て、集団移住を余儀なくされています。

現在取り組んでいるひまわり畑は、児童養護施設の畑を借りて行われています。この地区は福島でも高齢化率の最も高い農村地帯にあります。子どもたちは高校・大学へと進む過程で都市部に移り、就職を機に家を出て、老夫婦のみ地域に残ることになります。農業の担い手は老夫婦に委ね

福島での「土船ひまわりプロジェクト」は、震災から十年を機に開始されました。十年間を振り返ると、震災後に起きた福島の現状は、現在の日本社会の直面している課題を先取りし、た先進事例と言えます。

親から見捨てられた子どもたち、障がい者とされた若者たち、高齢化する老人世帯が社会が抱える問題の先進地が、ひまわりで繋がり元気になつていく地区へと変わり、地域再生モデルとなつていくことをを目指して今年も種蒔きが行われています。(丁・〇)

くことで生活の現場は変わり、生活しやすい環境を作つてい
くことが可能です。ひまわりの一粒の命に向き合つとき、
子どもも高齢者も一緒になつて大きな花を咲かせようと願う
とき、その思いは、そこに集まる人々を優しさで包み、そこに
地域の人間関係を回復させていくきっかけが生まれます。

「てきた」と言うことが原発事故からの教訓として確信に変わりました。「命を守り合う」と言うことは簡単ですが、実は大変難しいことです。現実社会では、「命」を軽視した事件が多発し、「命」を軽視した話題にあふれています。原発事故で盛り上がった原発廃止の流れは、再び推進の方向へと世界規模で動いています。人間一人一人は非力ですが、地域に人間関係を回復していく

地域の氏神でもある神主さんによる今年一年間の豊穣安全祈願の神事を体験しながら、何事もなく豊かな実りを得られることを願つて生きてきた先人の思いを引き継いでいると言つて敵爾かな気持ちを味わうことができたような気がする。(T・O)

目的で集まり、同じ釜の飯を食べると、みんなが仲間になるとは昔から言われてきた。

これから楽しみは、一面に咲き誇るひまわり畑での花見、真夏の花「ひまわり」を眺めながらの納涼祭、実った種を収穫後の収穫感謝祭、ひまわりと自然の営みの中で、少しだけ仲間に入れてもらつて自然を楽しむ

るが、この日の種時は延期に。
おかげで昼食用のカレーがで
きるのを待つて、室内でのラン
チミーティングをゆっくり楽し
むことに。種時きの後では味わ
えないゆつたりとした時間と
なつたのは、雨の恵みかも知れ
ない。

これからひまわりに関わっ
ていく人たちが、親しく交流す
る場を持てたことで、今年のひ
まわりは一段と大きな花を付け
てくれそうな予感がする。同じ

くされた人たちと共に生活しています。三世代同居世帯が避難生活の過程で核家族に分断され、その中で起きた悲劇も多く見てきました。

シャロームでは、「人は、命を守り育むために社会を作つ

五月十七日、今年のひまわりの種ときの日。私たちの目先の都合を知らぬかのように、降りだした雨は畑を潤し、畑は雨水を吸い込み濡れしていく。種の来るつと持つて、つるつるにしゆく

卷之三

の天気が雨ということで、種時きは中止し、豊穣安全祈願祭と食事を青葉学園のホールで行う事となりました。

当日の朝は今にも雨が降りそうな雲が覆い、十時頃には雨が降り始めていました。今まで種時きの日に雨になつたことが無く、初めての経験をさせていただきました。生憎の天気にもかかわらず、土船地区住民の方々、青葉学園の子どもたち、ボランティアさんなど、百五十名ほどの人が青葉学園に集まり、楽しい時間を過ごすことができました。

ひまわりプロジェクト 2025

ひまわりプロジェクト 2025 始動



▲ 土船区秋千会さん、シャロームのボランティアさん、憩の利用者さんが一緒に作ってくださった土船カレーは大人気。グリーンコープ様からのご協賛品の福神漬けと一緒にいただきました。



▲貴船神社宮司様による豊穣安全祈願祭。地区の歴史に触れる機会にもなりました



▲ 5/17のイベント終了後、青葉学園・シエロードのスタッフで記念撮影



▲ 5/20 の種蒔きに来てくれたベーシック憩の利用者さん。畑作業を楽しむにしている方も多いそうです。

今年もひまわりの種を時季となり、五月十七日の種蒔きに向けて福島市土船にある青葉学園の畑の整備や力レーライスの振る舞い、豊穰(ほうじやう)の神事を行つた。秋

◆土船ひあわらフジヒクア
今年も始まりました

豊穰祈願祭では、いつもお世話をなっている貴船神社の宮司様から、この地区における貴船神社の歴史などを教えていただきました。貴船神社の本宮は京都にあり、万物の源である水の神を祀る、全国二千社を数える水神の総本宮である事を知りました。現代は水道があり、当たり前のようになつてしまいがちになつていて、感謝の気持ちが薄れるとため、感謝の気持ちが薄れてしまつた。水だけでなく、八百万の神を感じて生活することができれば良いのではなつたかと、宮司様の話を聞かせていました。惜しかつたとき思いました。

入っており、家庭によつて違
う味わいがあると思います。
ここで振る舞われた「土船カ
レー」にも、隠し味に入れて
いるものがあります。
それは「チョコレートと味
噌」です。初めは驚かれると
思いますが、甘みと塩味が入
ることで深みがあり、とても
美味しく仕上がりつていまし
た。美味しいカレーを作つてくだ
さつた皆様にこの場をお借り
して感謝申し上げます。今回
は雨ではありましたが、より
長い時間親睦が深められたの
ではないかと思いました。
また、お土産にまちなか夢
工房からパンを、フードバン
ク一本松様からお菓子・飲み
物・非常食を、グリーンコロ
ブ様から福神漬けを、生活ク

ラブ生協様から飲み物を、それぞれ
樂様から飲み物を、それぞれ
提供していただきました。誠
にありがとうございました。
種時きは日を改め、三日後
の五月二十日に千秋会、ベー
シック憩、シャロームの皆さん
で行いました。一時間弱で
種を播き終わることができま
した。千秋会の皆さんは次々
と種蒔きされ、持ち場以外も
やつて下さり、草取りまでし
ていただきました。お手伝い
くださいありがとうございました。
した。
今年もこうして始まつたひ
まわりプロジェクトですが、
栽培協力者の皆さんと同じひ
まわりを育てる事で、遠くに
いても想いがひとつになるよ
うに感じられます。これから

ひまわりプロジェクト実行委員会のメールアドレスが変わりました。お問合せ・ご連絡時は以下のアドレスまでお願いいたします。

新メールアドレス

himawari@shalom-net.jp

夏に向かって暑くなりますが、熱中症に気を付けてひます。わりを愛でながら育ててください。収穫までよろしくお願ひ致します。

ひまわりレシピーサイト

ひまわり通信

Instagram



ひまわりの育て方はこちらから

新規の知識を学ぶ！ 最新情報をここから！

最新情報はニ古川から！

教養講座 地元学を考える

第一百五十九回「地元学を考える」
(一〇一五年三月八日開催)

「伝えたい！伝わらない！ （行動障害とは）」

講師 高野真哉 氏

「地元学」一百五十九回目の節目となつた今回の講座は、シャロー・ム福社会「ベーシック憩」施設長の高野真哉さんの講話でした。まず始めに、高野さんが現在のお仕事をされるまでの経緯をお聞きしました。生活介護支援事業所で福祉の仕事を経験され、その後、ご縁があつてシャローム福社会の就労支援事業所で勤務されるようになつたそうです。

という意味があるそうです。高野さんが、事業所の利用者さん、スタッフの皆さん、周囲の方々が「幸せ」になれるよう、日々、取り組まっている姿が見えるお話をでした。

今回の講座のテーマは「伝わる」でした。障がいをもつている方の中には、自分の気持ちや思い、自分の置かれている状況などを伝えることができない方も少なくありません。私は、特別支援学校で障がいをもつた子どもたちと日々関わっているので、自分の気持ちや状況がうまく表現できない、「伝えら



したく（石高敦子）

「こつでもいいでできる
第五回本業」

原因。

第一回五百回は石高さん、第二回五百一回は高橋さんに感想文を寄稿していただきました。ありがとうございました。

第一回五十三回予告 元学を考え 座談會

アルプス処理汚染水を このまま放出続けていいのか

講師〉魚住道郎氏

(日本有機農業研究会理事長、有機農業生産者)

【日時】 2025年6月21日

10:30~12:00

〈場所〉 まちなか夢工房 2 階

〈参加費〉 500 円 〈定員〉 20 名

1000

森里川海はいのちの基盤、いのちの循環の場です。その森里川海に息づく多様な動植物、微生物のいのちを食することで、私たちには生きています。

は生きています。私たちのいのちは森里川海そのものであると言え、社会的共通資本です。人類だけのものではなく、地球上のあらゆる生き物の共有空間であり財産です。

今、汚染水をアルプス処理水として海洋放出されています。こんな無責任を放置するわけにはいかないと思います。トリチウムの問題点も含め、皆さんと考え・語り合い共有したいと思います。

*六月十六日（月）までにお申込みください。後日、ユーチューブにて配信いたします。



YouTube
「ニューライフ体操教室」



地元学 第251回
いつでもどこでもできる
簡単体操!



今日は午前中の開催です。
お間違いないよう
び注意ください

活動のご報告

2025年3月26日～5月31日

- 3月27日 憇〈販売〉にじいろday（福島市役所）
夢工房 市民活動サポートセンター交流会
- 3月29日 夢工房〈イベント〉パン屋さんになりきろう！第4弾（まちなか盛り上げ隊／企画）
- 4月1日 夢工房 店内イートイン再開
- 4月4日 〈ひまわり〉生活クラブ様来訪
- 4/4・11・18・25 リアン 相談会・ピアカウンセリング（まちなか夢工房）
- 4月23日 憇〈販売〉にじいろday（福島市役所）
- 4月24日 〈ひまわり〉グリーンコープ様来訪
- 4月26日 憇〈販売〉メーデー展示販売会
第251回 地元学講座
「いつでもどこでもできる簡単体操」
水戸 章氏
- 5月3日 夢工房〈販売〉結・ゆいフェスタ（まちなか広場他）
- 5月5日 夢工房〈販売〉まちなかテーマパーク（まちなか広場他）
- 5月10日 夢工房・憩〈販売〉フォラム市場（福島市民センター）
- 5月13日 憇〈ひまわり〉ひまわり種唐箕がけ
- 5月17日 〈ひまわり〉土船ひまわりプロジェクト種まき（青葉学園）
憩〈販売〉いきいき！ふくしまマーケット（道の駅ふくしま）
- 5月18日 夢工房〈販売〉小さな村のマルシェ（あだたらの里）
- 5月19日 リアン いきいき共生協議会
- 5/20～6/9 楽膳〈販売〉民藝フェア（有隣堂恵比寿店）
- 5月22日 憇〈販売〉にじいろday（福島市役所）
- 5月23日 リアン 相談会・ピアカウンセリング（まちなか夢工房）
- 5月24日 夢工房〈販売〉本宮子どもまつり（みずいろ公園）
第252回 地元学講座
「自分という不思議な存在」
渡辺 明美氏

- 5/26～6/6 夢工房〈実習受入〉ふくしま支援学校
- 5月27日 リアン 一般相談会・ピア交流会
- 5月28日 夢工房 まちの駅総会
- 5月31日 NPO法人シャローム 総会
夢工房〈販売〉ゲームフェス（S-PAL福島）
憩〈販売〉わたりげんきまつり（渡利学習センター）

活動予定

2025年6月1日～6月31日

- 6/7～7/13 楽膳〈販売〉J's Coffee（福島市）
- 6月8日 夢工房〈ひまわり〉NPO法人0073主催
ひまわり種まき参加
- 6/9～6/20 夢工房〈実習受入〉大笹生支援学校
- 6月10日 福島地域福祉ネットワーク会議（青葉学園）
- 6/13～6/27 リアン 相談会・ピアカウンセリング（まちなか夢工房）
- 6月14日 シャローム福祉会 理事会・総会
- 6月18日 楽膳〈講義〉UD出前授業（会津学鳳中学校）
- 6月21日 憇〈販売〉いきいき！ふくしまマーケット（道の駅ふくしま）
第253回 地元学講座
「アルプス処理汚染水をこのまま放出し続けていいのか？」
魚住 道郎氏
- 6/23～6/27 夢工房〈実習受入〉第四中学校支援クラス、信夫中学校
- 6月26日 〈ひまわり〉生活クラブ生協ふくしま様
交流会（まちなか夢工房）



チャンネル登録がおすすめ
YouTubeチャンネル登録と動画
新通知をONにすると、最新のア
ップロード動画が見やすくなります。



QRコードからも
動画をご覧いただけます

URL

https://www.youtube.com/@npo_shalom
YouTubeチャンネル名 NPO法人シャローム

オンライン配信
地元学講座